



健全育成シリーズ (215)
親として・人間としての
雑感

あふれる物や情報の中で、今私たちは、自分に都合の良いところのみ選択し、時間のかかる難しいことに対しては避けているきらいがあります。また、便利さの中で私たちが失ったもの大きさは計り知れません。

メールでいち早く井戸端会議的な情報を流すことが優先され、習得に手間ひまのかかる、生きてゆくうえでの基本(食事・規則正しい生活、あいさつや行儀作法、しつけなど)が揺らいでしまいました。子どもたちに関わる機関では、今その見直しが迫られています。

少ない資源でつましく生活することは、ものを大切にする心を育てます。ひいては、自分の命が、かけがえのない大切なものであることに気がきます。

また、子どもの育ちの質も改めて問われます。「子どもの育ちの中には冒険も必要だし、周囲の視線から隠れる場所も必要です。さまざま状況において、どう自分の身を守っていくのかということもそうした遊びから学びます。つまり、遊びの中で小さなけがは、大きな事故や

けがを防ぐ大切な経験になる。」と金子恵美先生(日本社会事業大学准教授)が言っているように、どう自分の身を守っていくのかという部分が教育で抜けていたように思います。

集団生活や遊びの中で8割の充足と2割の葛藤で学び育った子どもたちは、自分の人生を逃げることなく、向きあえるのではないのでしょうか。どう生きたらいいか早い時期に習得出来た人は、自分の心をストレスから守る力がつくのだと思えてなりません。

年を重ねてきて、子育ては、忍耐だと思ふようになりました。正面から子どもと向き合い、子どもたちの未来に対峙するということが、親としての愛であり子どもにとつての財産です。忙しい時間の中でも辛抱強く子どもと向き合えた親が、子どもの信頼を勝ち取るのだということが、親業の失敗を繰り返してきた、今の私の感想です。

「早くしなさい。」「これをしなさい。」子どもが成長するまでどのくらいこれらの禁句を言い続けたのでしょうか。教育現場に身を置いてみて、また人様の子どもの育ちを見るに付け「あー、あの時もつと子どもと時間を共有しておけばよかった」と、その時間の大切さが今となれば身染みて分かるのです。

父業・母業まつただ中の皆さん、子どもとの関わりを大事にしてください。教育は財産ですが、そのとらえ方を間違えないでください。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

覚せい剤などの違法薬物は、たとえ1回だけの使用でも乱用になり同時に犯罪になります。また、医薬品を病気や傷の治療以外に使うことも薬物の乱用になります。

違法薬物の使用は、脳や体を破壊し、一生にわたり心身に苦痛を与え続けるとともに、大切な家族の生き方にまで大きな影響を与えます。

今日でも覚せい剤などの薬物乱用による検挙者は一万人を超える数で推移しており「第三次覚せい剤乱用期」にあると言われています。

また、薬物乱用の低年齢化が進行し、中高生などの青少年層への拡大が懸念されています。

国及び県では、違法薬物根絶のため、6月20日(土)から7月19日(日)までの1カ月間「ダメ。ゼッタイ。」のキャンペーンを展開します。

違法薬物の恐ろしさを正しく理解して、薬物乱用を許さない地域社会づくりを推進しましょう。

問合先 衛生課

☎0555(24)9033

あなたの歯は健康ですか!

6月4日(木)～10日(水)は「歯の衛生週間」です。いつまでも健康で元気な歯を保つためには毎日の手入れがとても重要です。

虫歯の予防 「磨いていること」と「磨けていること」は違います。歯と歯の間や歯ぐきの境目などは汚れが残りやすいので、きちんと磨き、汚れを落としましょう。また、バランスのよい食事に心掛け、よく噛んで食べることも大切です。

8020達成を目指しましょう 80歳になっても自分の歯を20本以上保ちましょうというのが8020(ハチマルニイマル)運動です。一生を自分の歯で楽しく食事し、健康な日常生活を送りましょう。

歯の無料相談(歯科医師会) 歯の衛生週間に併せて次の無料相談所が開設されます。

場 所 Qースタ4階
○6月6日(土)午後2時～4時

場 所 ダイエー大月店
○6月7日(日)午後1時～3時

皆さんもこの機会に歯の健康について見つめ直し、日ごろの口腔ケアに心掛けて歯科疾患の予防に努めましょう。